

平成16年6月15日  
独立行政法人水資源機構中部支社

## コスト縮減策の検討方針及びフォローアップの進め方

### 1. コスト縮減策の検討方針

変更事業費3,500億円の算定にあたっては、以下に示す縮減を図ることとしている。  
今後の建設費について5%の縮減努力(48億円)

- ・VE方式の導入
- ・新技術・新工法の導入
- ・これらに加え、工事、調査等の設計額と請負額との差額についても、この一部として整理を行う。

独立行政法人化を踏まえた経営努力による縮減(30億円)

- ・新たな契約方式の導入
- ・人件費カットをはじめとする事務費の縮減
- ・その他ありとあらゆる方策への取り組み

この委員会においては、上述の縮減に向けたコスト縮減策の検討を行うとともに、さらなるコスト縮減策について検討を行う。

なお、この委員会としてのコスト縮減策については、当面、平成16年度上半期を目処に取りまとめを行う。

### 2. コスト縮減策の実施状況のフォローアップ

検討したコスト縮減策が実際の工事、契約等に適切に反映され、想定したコスト縮減効果が得られているか検証を行う。

フォローアップについては、平成16年度下半期以降実施する。

なお、フォローアップの過程においても、継続してコスト縮減策の検討を行っていく。

### 3. 委員会及びワーキンググループにおける検討の進め方

主要構造物であるダム本体、管理設備、付替道路について、担当委員と水資源機構職員とで構成するワーキンググループを設け、コスト縮減策の検討と、コスト縮減策の実施状況のフォローアップとを行う。

委員会においては、ワーキンググループにおける検討結果を総括・審議し、事業の執行に反映させていく。

4. 委員会の開催予定及びワーキンググループの開催状況

(1) 委員会の開催予定

委員会の開催予定を表 - 1 に示す。

表 - 1 委員会開催予定

	開催時期	審議内容
第1回	平成16年6月15日(火)	コスト縮減策の検討方針
第2回	平成16年10月頃	コスト縮減策の取りまとめ コスト縮減策のフォローアップの方策
第3回	平成17年度当初	平成16年度のコスト縮減状況の取りまとめ
第4回	平成18年度当初	平成17年度のコスト縮減状況の取りまとめ
第5回	平成19年度当初	平成18年度のコスト縮減状況の取りまとめ
第6回	平成19年度末	コスト縮減結果の取りまとめ

(2) ワーキンググループの開催状況

ワーキンググループの開催状況を表 - 2 に示す。

表 - 2 ワーキンググループの開催状況

ワーキンググループ名		開催日	開催場所	実施内容
ダム本体	第1回	平成16年4月23日(金)	徳山ダム建設現場	現地調査
	第2回	平成16年5月28日(金)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
	第3回	平成16年6月8日(火)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
管理設備	第1回	平成16年4月23日(金)	徳山ダム建設現場	現地調査
	第2回	平成16年6月8日(火)	(財)ダム技術センター	コスト縮減策の検討
付替道路	第1回	平成16年5月8日(土)	徳山ダム建設現場	現地調査
	第2回	平成16年5月26日(水)	岐阜大学	コスト縮減策の検討
	第3回	平成16年6月8日(火)	岐阜大学	コスト縮減策の検討

(3) 委員・顧問による現地調査等の状況

委員・顧問による現地調査等の状況を表 - 3 に示す。

表 - 3 委員・顧問の現地調査等の状況

	実施日	場 所	実施内容
松尾委員長	平成16年6月7日(月)	徳山ダム建設現場	現地調査
加藤顧問	平成16年5月31日(月)	徳山ダム建設現場	現地調査
	平成16年6月4日(金)		技術提案付価格合意方式の試行 導入結果の説明
	平成16年6月9日(水)		水資源機構における契約方式等 の説明
小柳顧問	平成16年6月8日(火)	徳山ダム建設現場	現地調査